

寄稿

## 会長職時代の回想



白川 宏

技術士包装物流会50周年を心から祝福いたします。

小生は平成12年から6年間、推薦を受けて、多くの会員の力をバックに無事会長職を務めさせていただきました。現在は顧問で、古参会員の一人として参加させていただいています。当時の会の集まりを振りかってみるとお互いに自分の専門を核にして切磋琢磨しつつ、情報の交換が多いように感じました。任期中の諸行事などを振り返って、箇条書きになりますが以下記に記載いたします。

- ・任期期間中、国内・海外での研修旅行を頻繁に実施し、各個人の技術レベルアップ、会員相互の交流に役立てた。毎年、会員がお世話になっていた企業などを推薦していただき工場など訪問し、海外研修ではタイ、台湾、中国、ベトナムを訪ねた。(訪問先の企業名、都市などは年表参照)

- ・平成12年、会長職の立候補制度(会則改訂)の提案があり採用を試みたが、今日に至るまで立候補される会員はなく絵に描いた餅のままになっているのは残念である。

- ・平成12年5月にWP(JPLCS.COM)の運用開始をした。ウェブページの検討にあたっては当時、(社)包装機械工業会に勤務されていた秋元さんが積極的に推進されたのが印象に残っている。

・平成17年に当会のPRとして邦文、英文パンフレットを発行した。記載されているロゴマークは会員より募集をし、大森会員の力作（JPLCS+地球儀）を採用した。現在も利用されている。

・ジャパンパック・東京パックの展示会では会のPRと共に会員の研究発表も活発に行い、菱沼会員・柴崎会員・大森会員の作品の実演並びに会員著作書の展示は盛況で印象的であった。

・有料セミナーの実施、包装展・MS展でのセミナーなど外部への発表も活発であった。

振り返ってみると小生を後押ししていただいた会員各位の協力を得て充実した任期内容であったと感謝しています。